

### 第3学年4組 道徳学習指導案

平成24年6月1日 第2校時

指導者 出水南小学校 三島 朋子

- 1 主題名 正直に話そう 1－(4) 正直誠実・明朗  
資料名 お兄ちゃんのかいた絵 (自作資料)

2 本時の学習

- (1) 目標  
よくないと思ったことは素直に反省し、改めようとする心情を深める。
- (2) 情報モラルの視点  
人が考えたもの、作ったものには、作った人の思いが込められていることを知り、かつてに自分のものにしてはいけないということを考える。
- (3) 展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点及び評価
導入 5分	1 自由ノートを紹介し、イラストを描く楽しさを考える。	この絵のいいところは、どんなところですか。どんな気持ちでこの絵をかいたのでしょうか。	・日常の中で、なにげなく描いている作品の中にも大切な本人の思いがあることに気づき、価値への方向付けを行う。
展開 前段 25分	2 資料を読み、話し合う。 (1)心に残ったことを発表する。 (2)お兄さんの作品を無断で自分の作品にした、たかしの気持ちを考える。 (3)自分の絵ではないのに、えらばれた時のたかしの気持ちを考える。 (4)正直に言えた、たかしの気持ちを考える。	お話を読んで、どんなところが心に残りましたか。  ・お兄ちゃんの絵をつかったのはよくない。 ・本当のことを言えたので、正直だと思う。  たかしは、どうしてお兄ちゃんの絵に自分の名前を書いてしまったのでしょうか。  ・いいアイデアがうかばなかったから。 ・ねむくなって、ねてしまったから。  「どうしよう」と悩むたかしは、心の中でどんなことを考えたでしょう。  ・軽い気持ちで出してしまった。 ・自分でかいた絵ではないのに、えらばれていいのかな。 ・だれもお兄ちゃんの絵だとは知らないで、だまっていようかな。  本当のことを言えたたかしの気持ちを考えてみましょう。  ・本当のことを言えて心が軽くなった。 ・やっぱり正直に言ってよかった。 ・人のものを勝手に自分のものにしてはいけない。	・感想を出していくことで、話の概要をとらえやすくする。 ・子どもたちの感想をもとに、発問へとつないでいくようにする。  ・たかしの気持ちを考えることで普段の自分たちにも同じようなことがないかおさえる。 ・たかしの行動をしっかりと押さえることで、自分の名前を書いてしまった時の心情を考える。 ・多様な考えを出し合い、自信を持って話し合いに参加できるように、少人数での話し合いを行い、全体交流につなぐ。 ・たかしの気持ちを心情円盤で表すことで、心の揺れをとらえやすくする。 ☆素直に反省しようとする気持ちや改めようとする気持ちをとらえることができたか。 ・友だちや兄弟など、相手の気持ちを考えて思いを伝えることの大切さに気づくようにする。
展開 後段 10分	3 今までの自分の行動をふり返る。	みなさんは、正直に言えたことや、言えなかったこと、悩んだことはありませんか。  ・ゲームが壊れてしまったことを弟のせいにして、お母さんにつたえた。 ・宿題を終わってないのに、終わったとお家の人に言うてしまったことがある。	・自分の体験を想起しやすいように正直に言えたことと言えなかったこと、どちらからでも見つめることができるようにしておく。 ・学習シートに記入することで、自分の行動や気持ちをしっかりと見つめられるようにする。 ☆自分を振り返り、正直に明るい心で生活しようとする心情を深めることができたか。
終末 5分	4 教師の説話を聞く。(著作権を守ることの大切さを考える。)	人が考えて表現したものには、「著作権」があります。 ・人が考えたもの、苦勞して作ったものには、作った人の思いが込められています。 ・かつてに人の作品を使ってはいけないきまりがある。	・心情面での理解(正直について)を大切にしながら、著作権の概念とその取り扱い方法が理解できるような話をする。 ・身近なところにも「著作物」があることに気づくことで、「著作権」について確認する。

